

モニター様 No. 12

878 を使い始めて約 1 ヶ月。エージングも進みかなり良い感じになってきましたのでレビューを書いてみたいと思います。

付属のイヤーチップはコンプライ M サイズを含めて 8 種類。

いくつか試しましたが、イマイチじっくりくるものが無かったので手持ちのコンプライ TS-500 の L サイズに落ち着きました。

(というか、最近たいていのイヤホンでコンプライの TS シリーズを使っているのですが 笑)

以下レビューはこれを使用したものになります。

またプレイヤーは iPhone5s 直差しと FiiO のハイレゾプレイヤー X5 を使用しています。

まず、使用感についてですが、ケーブルは程よい太さで癖の付きづらいもの。

Shure の SE215 や SE112 ほどしっかりしたものでは無いですが、この価格帯としては十分かと思えます。

またプレイヤー側のプラグは同社の 868 から L 型へ変更されていて地味ながら嬉しいポイントです。

遮音性や音漏れについてもコンプライを使用している影響もあり、良好です。

地下鉄では、Shure の SE215 や SE112 と比べると周りの騒音が聞こえる感じはしますが、Ultimate Ears の UE900 と同じ程度には騒音が低減されている気がします。

音漏れもまったくしないわけではありませんが (SONY の EX1000 などを使用するときは音量に気を遣わないといけない程度には) 音量を上げて使用する癖のある私が気にならない程には音漏れしません。

静かな環境で距離が近いと聞こえるかな、という程度です。

付属のケースも 868 の巾着袋から上質なソフトケースへ変更されていて、これがかなりのお気に入りです。

このケースだけ別売りだったら買う勢いです (笑)

さて肝心の音質ですが、まず全体の所感としては、ヴォーカルを中心とした中域がとてもしっかりと前に出てきます。

メーカーの謳い文句通りヴォーカルはほんとに聞きやすいです。

また高音域も刺さるか刺さらないか、というところまでちゃんと出ており、低域もかなり出ます。

同社の 868 と比較してもこのバランスの良さはかなり良いと思います。

868 の方もあの価格帯では、かなり良イヤホンで、低域から高域までしっかり出ていたものの、なんとなく聞き疲れのする感じがしていましたが、878 はそういった感じもなく聞きやすいです。

と書くとフラットな出音なのかとというと、そうではなく所謂モニター的というよりは、音楽を楽しむためのイヤホンかと思えます。

個人的には低域が多すぎるかなーというくらい出ており、それなのにヴォーカルが埋もれていないのが、とても印象的。

全体的に濃い音なので、このイヤホンの後に Shure の SE215 や SE112 を聞くと、そちらがやけにあっさり感じます。

しかしながら、個人的にそのままだと低域が強すぎるので、Fiio X5 で聞くとときはイコライザーで低域を削っています。

このイコライザーで調整した後の音はかなりツボで、イコライザーを掛けても全体の音のバランスが崩れない感じがとても素晴らしいと感じます。

音場については、そこまで広くはないものの宇多田ヒカルの Automatic のコーラス部分など空間の表現はしっかりされていると感じます。

また flipside の only my railgun や sister's noise はミックスの関係か、わりとヴォーカルが埋もれがちで下手なイヤホンだとイマイチに感じるのですが、878 はそういったこともなく気持ち良く聴くことができます。

Jazz のビッグバンドの演奏も一つ一つの楽器の演奏をきちんと聴けますし、Vocaloid の曲のような電子楽器を多用する曲にも向いています。

ただ低域は強いものの、そこまで重心の低い低域ではないので、ロック系やクラブ系の音楽では物足りない人はいるかもしれません。

バランスの良いイヤホンなので、どのジャンルも楽しめるとは思います、個人的には、やはり POPS やアニソンのヴォーカルものの音楽が一番しっくりきます。

ただ、バランスドアーマチュアの上位機種に比べると音の解像感ではさすがに劣るので、そういった音が好きな方よりはダイナミック型の音が好きな方へオススメのイヤホンです。

モニター的な音ではないので、そういった使い方というよりは普段使いに向いていると思います。

個人的には、このイヤホンより価格帯の上なイヤホンも何本か所持していますが、最近はこのイヤホンの出番がかなり多いです。

同時期に Ultimate Ears の UE900s も購入したのですが、あきらかにこちらの使用量が多いほど気に入っています。

-- 以上 --

<注意>

本レポートは、シースピリッツ合同会社の Blue Ever Blue Mercury Model 878 モニタープログラムに基づいて選定されたモニターの方が作成したものであり、その著作権はシースピリッツ合同会社に委属し、個人的な閲覧目的のために供するものです。転載等をご希望の際は、シースピリッツ合同会社までご相談下さい (info@hakojiro.com) 。